組合規約

ダンロップ護謨工組合

主義綱領

一、我等ハ公共ノ理想ニ從ヒ識見ノ開發德性ノ涵養技術ノ進歩ヲ圖ランコトヲ期ス

二、我等ハ共同ノ力ニ依リ着實ナル方法ヲ以テ我等ノ地位ノ改善ヲ圖ランコトヲ期ス

三、我等ハ相互ノ親睦ヲ計リ一致協力シテ相愛扶助ノ目的ヲ貫徹センコトヲ期ス

第一條　本組合ハダンロップ護謨工組合ト稱ス

第二條　本組合ハ組合ノ主義要綱ヲ貫徹スルヲ以テ目的トス

第三條　本組合ハ其事務ヲ處理スル爲事務所ヲ設ク

第四條　本組合ハダンロップ護謨工業ニ從事スル勞働者ヲ以テ組織シ日本勞働總同盟ニ加入ス

第五條　ダンロップ本工場從業員ハ本組合員タルノ義務ヲ有ス

第六條　本組合員ハ組合ノ主義綱領ヲ遵守シ組合ヲ維持センガ爲會費トシテ毎月(男工)二十錢(女工)十錢ヲ納ムベシ
會費ハ退會其他如何ナル場合ト雖之ヲ返還セズ

第七條　本組合ニハ左ノ役員ヲ置ク

一、組合長	一名	
二、副組合長	二名	
三、幹事	若干	
四、會計	三名	
五、書記	三名	
六、委員	若干	

第八條　組合長ハ會員ヲ統率シ一切ノ會務ヲ指揮監督ス
副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ之ヲ代理ス
幹事ハ會務ノ協議ニ參與ス
會計ハ組合委員中ヨリ互選シ組合長ノ指揮ヲ受ケ會計事務ヲ處理ス
書記ハ組合長ノ指揮ニヨリ記錄書類ヲ整理ス委員ハ部所ノ組合員ヲ指導ス

第九條　總テ役員ノ任期ハ滿一ケ年トス
但シ補缺ニ係ル者ノ任期ハ其ノ殘期間トス

第十條　本組合ニ顧問ヲ置ク
顧問ハ本組合ヲ指導ス

第十一條　本組合ノ役員ハ全部所ヨリ選出スル委員ヨリ互選スルモノトス
書記ハ組合長之ヲ指名推選ス
幹事ハ委員中ヨリ互選ス
委員ハ部所ノ組合員一定數十名ニ對シ一名選出シ端數十名以上ニ對シ一名ノ委員ヲ加フルコトヲ得
工場委員ハ組合委員トス
但シ一定數ニ滿タサルトモ十名以上ノ人員ヲ有スル部所ハ委員ヲ選出シ得

第十二條　選擧及ビ被選擧權ハ男女年齡ヲ問ハズ組合員之レヲ有ス

第十三條　本會ノ常務ハ幹事會ニ於テ之ヲ處理ス
幹事會ハ組合長副組合長及ビ幹事會計顧問ヲ以テ之ヲ組織ス

第十四條　本組合ニ基金ヲ設ク
本組合ノ經費ハ基金ヲ以テ之ヲ充ツ

第十五條　會費及ビ寄附金品其他ノ收入ハ總テ之ヲ基金ニ編入ス

第十六條　本組合ノ基金ハ銀行又ハ郵便局ニ預入ス
基金ノ保管及出納ニ關スル事項ハ幹事會ニ於テ之ヲ定ム

第十七條　金錢物品ノ必要ナル會計帳簿ハ幹事會ニテ之ヲ定ム

第十八條　寄附金品ハ幹事會ノ決議ニ依ルニアラザレバ之ヲ受理スルコトヲ得ズ

第十九條　本組合ノ歲出入ハ毎年八月役員會ニ於テ豫算ヲ編成シ豫算外ノ支出ノ必要ヲ生ジタルトキハ其ノ都度役員會ノ決議ヲ經ルヲ要ス

第廿條　會員總會ハ毎年二回之ヲ開ク但シ臨時總會ヲ開クコトヲ得
幹事會ハ毎月一回以上之ヲ開キ役員會ハ隨時之ヲ開催ス

第廿一條　會員總會ハ役員ノ決議ヲ經幹事會及役員會ハ組合長之ヲ召集ス

第廿二條　本組合員ニシテ會員タルノ体面ヲ汚ス者アリト認メタル時ハ役員會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス
會費三回以上滯納シ督促ニ應セザル者除名ス

第廿三條　組合員ノ模範トナルベキ善行者ハ之ヲ表彰ス其表彰方法ハ役員會ニ於テ之ヲ決定ス

第廿四條　講話會運動會茶話會家族會ノ開催及救濟方法等ハ幹事會ニ於テ之ヲ決定ス

第廿五條　共同購買及組合員ノ教養救濟其他勞動者ノ文化向上ニ必要ナル事業ハ漸次之ヲ研究實施スベキモノトス

（内海印刷神若六）

組合規約

ダンロップ護謨工組合

情報課